

(一般社団法人)大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム
令和6年度 第1回ナノ理工学情報交流会
「サーキュラーエコノミーを考える」

本年度第1回目のナノ理工学情報交流会を開催いたします。産学双方の意見交換の場として、コンソーシアム会員をはじめ、ご関心をお持ちの多数の方々のご参加を歓迎いたします。

主催: (一般社団法人)大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム
共催: 大阪大学エマージングサイエンスデザインR³センター、
大阪大学産業科学研究所産業科学ナノテクノロジーセンター

開催日時: 令和6年6月27日(木) 13:00~17:20

開催場所: 大阪大学豊中キャンパス 文理融合型研究棟3階305号室

遠隔配信地: オンライン配信

開催趣旨: 必要資源の安定的な確保やカーボンニュートラルの加速に伴い、資源の循環を一層加速する必要性が指摘されている。欧州では資源循環を拡大させながら、新市場創出や競争力強化を図るべく、産業政策を打ち出す動きも出てきている。そこで、本交流会では、国や産業界におけるサーキュラーエコノミーの動向と共に、資源再生に関する先進技術についても紹介する。

費用: コンソーシアム会員、学生及び大阪大学教職員は無料。
(コンソーシアム企業会員の場合、社内から何名でも無料で参加が可能です。)
四日市市商工会議所、けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム会員、
大阪商工会議所の技術・事業開発研究会及び環境・エネルギービジネス研究会の
会員企業、日本オプトメカトロニクス協会の会員企業は無料。
上記以外の参加者は資料作成費として5,000円/人を頂戴致します。

参加登録: 大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム事務局のHPよりお申込み下さい。

HP:<https://www.nanoscience.or.jp/>

登録締切: 令和6年6月20日(木)

問い合わせ: 大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム事務局

TEL:06-6853-6859(FAXと共通)

E-mail: nano-cons@nanoscience.or.jp

[講演プログラム]

13:00 13:10	開会挨拶 大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム 代表理事 伊藤 正
13:10 14:10	循環経済への移行に向けた取組について 高橋 亮介 氏（環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課課 課長補佐） 待ったなしの気候変動問題、各国における資源循環の取組強化や企業の再生材需要の拡大、地方経済の衰退など、我が国は様々な課題に直面している。こうした諸課題の解決策となり得る資源循環と成長の好循環を目指す「循環経済」(サーキュラーエコノミー)への移行に向けた環境省の取組、施策について紹介する。
14:10 15:10	自動車リサイクルへの日本自動車工業会の取組み 嶋村 高士 氏（一般社団法人日本自動車工業会 リサイクル・廃棄物部会 部会長） 一般社団法人 日本自動車工業会(自工会)では、2005年の自動車リサイクル法施行時から現在まで、自動車リサイクル促進の為に各種取組みを推進している。自動車リサイクル法制定の背景から、現在取り組んでいるリチウムイオンバッテリーのリサイクル等、自工会の最新の取組みの概要を紹介する。
	(休憩)
15:20 16:20	亜臨界・超臨界流体を用いたプラスチックのリサイクル技術 岡島 いづみ 氏(静岡大学 工学部 准教授) プラスチック製品には単一素材のものばかりではなく、複数素材を組み合わせた複合材料が用いられることも多く、これらのリサイクル方法の確立が求められている。本講演では、亜臨界・超臨界流体を溶媒とした、多層フィルム並びに繊維強化プラスチックといった複合材料の各成分の分離回収または繊維回収方法等について紹介する。
16:20 17:20	貴金属リサイクルの意義とプロセス技術開発 谷ノ内 勇樹 氏（九州大学大学院 工学研究院 准教授） クリティカルメタルの資源循環は、サーキュラーエコノミーの実現を左右する重要な要素の一つである。本講演では、貴金属を取り上げ、そのリサイクルの意義と講演者らが行ってきたプロセス技術開発を紹介する。

オーガナイザー:コンソーシアム企画運営委員

沖野 剛史	(株)東芝
辻 良太郎	(株)カネカ
鈴木 啓悟	(株)村田製作所
前田 和幸	住友電気工業(株)
稲垣 克敏	JSR(株)
山木 健之	パナソニック(株)
伊藤 正	大阪大学
宮坂 博	大阪大学
藤岡 透	大阪大学